

◎シリーズ 長岡京歴史散歩

(145)

長岡京学区の遺跡③

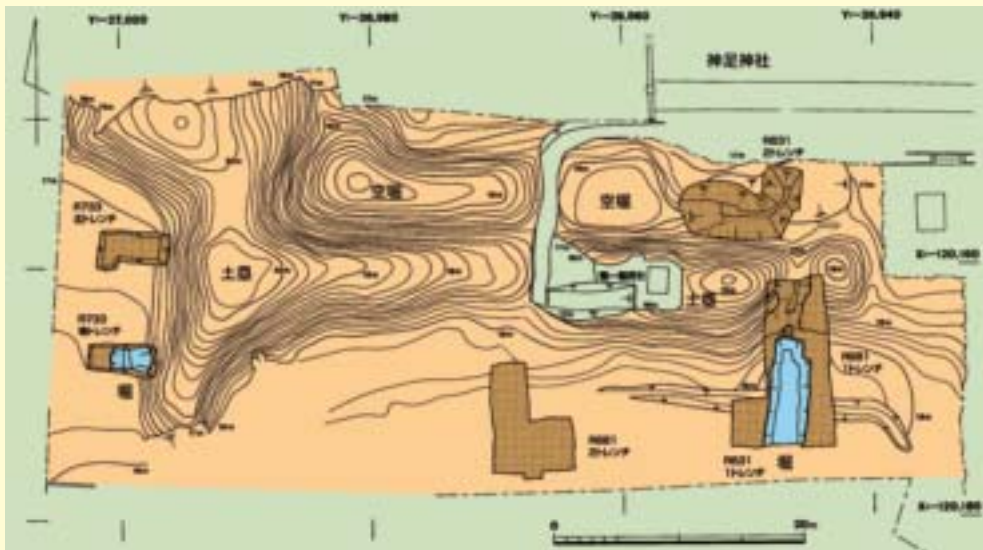
～勝龍寺城の土塁と空堀～

都市公園として整備された勝龍寺城は長岡京市民の憩いの場として、また歴史を学ぶ上での教材として広く活用されています。現在公園となっているのは城の中心部である本丸周辺なのですが、他にも勝龍寺の遺構が存在しています。

長岡第九小学校の南に鎮座する神足神社。この境内にも勝龍寺城の土塁と空堀が比較的良好な状態で残されています。竹藪に覆われているために、わかりにくいのですが、高さ3メートル近い土塁と深さ2メートル余りの堀の跡が今でもはっきりと見られます。これは元龜2（1517）年に細川藤孝が城の大改修を行ったときに作られたもので、以前は東側にも続いていましたが、残念ながら



▲西側から見た土塁の様子(画面左奥が第九小学校)



▲勝龍寺城の土塁と空堀（水色は発掘で新たに見つかった堀）

ら昭和59（1984）年に消滅してしまいました。なお発掘調査では新たに埋没していた勝龍寺城内の区画溝も発見されています。

（財長岡京市埋蔵文化財センター）